

第1回ディベートB

PB商品の高付加価値化の是非

橋本賢治 市村哲 諸角陽太 清水啓介

近年PB商品の導入に力を入れる企業が増加している。これまで、高品質のNB商品に対して、PB商品はイオンの「トップバリュー」のように、低価格をウリにして導入を進めてきた。しかし最近、ユニーやサンクスのようにPB商品を高付加価値商品として導入する動きもみられている。これは、PB商品が、今までのNB商品の領域に進出していることを意味している。

PB商品を高付加価値商品として導入すべきだろうか、肯定側と否定側に分かれて議論せよ。

タイムスケジュール

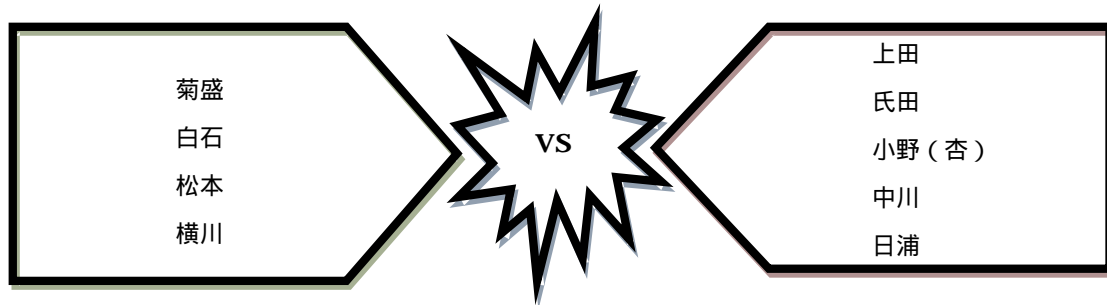
肯定側		否定側
肯定側立論 (7分)		
	作戦タイム (2分)	
		否定側質問 (3分)
		否定側立論 (7分)
	作戦タイム (2分)	
肯定側質問 (3分)		
	ジャッジ質問 (9分)	
	作戦タイム (3分)	
肯定側反駁 (5分)		
		否定側反駁 (5分)
	フリー・ディスカッション (15分)	
	作戦タイム (3分)	
肯定側まとめ (3分)		
		否定側まとめ (3分)

慶應義塾大学商学部小野晃典研究会第7期

チーム分け

肯定派

否定派



評価方法

下記4項目について1項目1~10点を各チームにつけ、合計点の多いチームを勝者とする。
論理の整合性、配布資料、積極性、チームワークなどを加味した上で採点せよ。

	肯定側	否定側
立論	/ 10	/ 10
反駁	/ 10	/ 10
フリー・ディスカッション	/ 10	/ 10
まとめ	/ 10	/ 10
合計点	/ 40	/ 40